



平成22年12月20日
四国地方整備局

入札監視委員会の審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第二部会は、本年度第3回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局（港湾空港関係）が平成22年7月から平成22年9月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した9件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成22年12月6日（月）

会場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061（代表）

四国地方整備局入札監視委員会事務局

技術審査官 香川 泰良（内線6216）

経理調達課長 松本 辰雄（内線6311）

品質確保室長 松尾 義文（内線6413）

別添1

四国地方整備局 入札監視委員会第二部会第3回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成22年12月6日(月) 高松サンポート合同庁舎13階会議室					
委員(部会委員3名)	部 会 長 藤本 邦人(弁護士) 委 員 桑原 正行(大学准教授) 委 員 小竹 望(高専教授)					敬称略 委員は50音別
審議対象期間	平成22年7月1日～平成22年9月30日契約分					
審議案件	総件数 9件(工事3件、建設コンサルタント業務等5件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件 名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工 事	一般競争入札方式 (政府調達協定適用対象工事)	高知港三里地区防波堤(東第一)築造工事	東洋・みらい特定建設工事共同企業体	727,650	4	85.7
	一般競争入札方式 (政府調達協定適用対象外工事)	須崎港港町地区試験工事(その(2))	香南・築山経常建設共同企業体	50,400	1	99.52
	随意契約方式	徳島飛行場出張所解体工事	大和リース(株)	6,300	—	98.68
建設コンサルタント業務等	一般競争入札方式	海象観測データ信頼性維持検討業務	(社)海洋調査協会	5,145	1	87.19
	公募型競争入札方式	撫養港海岸等保全施設老朽化調査	(株)エコー	84,000	10	60.58
	簡易公募型競争入札方式	東予港西条地区深浅測量	(株)アーク・ジオ・サポート	1,565	4	62.61
	通常指名競争入札方式	撫養港海岸桑島瀬戸地区土質確認補助業務(その2)	(株)環境防災	3,570	9	76.06
	簡易公募型プロポーザル方式	備讃瀬戸航路における航行安全対策検討業務	(社)瀬戸内海海上安全協会	10,290	1	99.59
役 務及び物品	一般競争入札方式	免税軽油購入(その2)	横井石油(株)	3,856	2	100
報告事項	①指名停止の運用状況					
	②談合情報等の対応状況					
	③低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考	次回は平成23年2月28日(月)に開催することを決定					

(注)プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。

別紙 委員からの意見・質問、それらに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

1. 工事 一般競争入札方式(WTO適用対象工事)

抽出案件	意見・質問	回 答
高知港三里地区防波堤(東第一)築造工事	・2者が低入札により辞退した理由は分かるのか。 ・技術提案評価の「潜水作業時における安全対策」の20点と16点はどのような技術の差があるのか。 ・今回の入札に参加した4者とも低入札を行い辞退した場合は、再入札になるのか。	・辞退した会社へ理由を聞いていない。 低入札調査の期間、入札参加者は技術者を抱え込む状況となるため、昨年度の10月から全国の地方整備局で施工体制確認資料を提出することなく辞退することが可能となった。 低入札を行った者は色々な制約もあるため全国的にも辞退する傾向が多い状況である。 ・技術提案は、技術審査会において審査を行っている。今回、潜水位置の管理や潜水時間の管理で評価できる提案数が少ないことが点数の差となっている。 ・今回の入札自体が不調となるため再度、入札公告を行うことになる。

2. 工事 一般競争入札方式(WTO適用対象外工事)

抽出案件	意見・質問	回 答
須崎港港町地区試験工事(その(2))	・入札参加者は1者のみだが、(その(1))工事と継続的な内容の工事なのか。また、(その(1))工事と同じ者が受注しているのか。 ・2回目の入札で落札しているが、2回目で落札しなければ何回まで入札できるのか。	・(その(1))工事は、フェンスを設置する工事で工事内容の継続性はなく、場所や発注ランクも異なっている。(その(1))工事と受注者は別である。 ・入札回数は、2回までとなっている。

3. 工事 随意契約入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
徳島飛行場出張所解体工事	・通常のリース物件であれば、返還の際は借り主の費用で解体を行い、リース契約時にその解体費用まで決まっていると思われるが、なぜ見積りを行う必要があるのか。	・国の契約は、単年度契約となるため数年先の費用を約束することは出来ない。当初の契約においても解体費用は含まれていない。

4. 建設コンサルタント業務等 一般競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
海象観測データ信頼性維持検討業務	・競争参加資格を有する者は、何者くらいなのか。 ・別件業務の「海象観測装置点検・保守業務」の受注者はどこなのか。また、今回の業務と別件業務が同一業者でも構わないのか。何らかの制限をもっているのか。 ・競争参加資格要件の同種業務は、今回対象のGPS波浪計を対象としているのか。海象観測装置全般を対象としているのか。	・112者の対象業者がある。なお、入札説明書をダウンロードした者は、7者である。 ・別件業務の受注者は、別の民間企業で今回の受注者とは異なる。競争参加資格要件を満たしていれば問題なく、民間企業で点検・保守業務の実績があれば参加可能である。 ・海象観測装置全般を対象としている。

5. 建設コンサルタント業務等 公募型競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
撫養港海岸等保全施設老朽化調査	・評価値の1位と2位の者が低入札となっているが、低入札業者へのヒアリング等はどのタイミングで行っているのか。 ・業務の低入札は、工事の低入札と異なる扱いになっているのか。 ・評価表において、実施方針以下4点で評価されていない業者があるが、何故なのか。	・落札予定者に対し入札後、低入札ヒアリングを行っている。 ・工事の場合は、開札後に施工体制の確認を行っている。業務は、ヒアリングによってその者が品質を確保できるかを確認し、確保できる内容であれば落札決定を行っている。なお、低入札により受注した者には厳しい制約等が設けられる。 ・今回、評価されていない業者については、技術提案資料の提出枚数が指定した枚数以上あったため、評価無しとなった。

6. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
東予港西条地区深淺測量	・参加表明書の提出を行った7者のうち3者がA等級であったため、競争参加資格要件を満たしていないという事態が生じたが、誤解を招くようなことは無かったのか。	・入札公示においても測量等級のB等級としているので、A等級の者が参加表明したことは疑問である。

7. 建設コンサルタント業務等 通常指名競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
撫養港海岸桑島瀬戸地区土質確認補助業務(その2)	・平成12年度以降に同種業務の実績を有している者が18者となっているが、この数はどのような基準でリストアップしているのか。18者が全ての会社となるのか。 ・指名業者の10者は、四国地方整備局から10者へ指名通知を行ったとの理解でよいのか。	・業務の実績を問う場合は10年としている。 なお、実績を問わない場合、四国管内において測量調査B等級74者の対象業者がある。 ・四国地方整備局から指名通知を行ったものである。

8. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル方式

抽出案件	意見・質問	回 答
備讃瀬戸航路における航行安全対策検討業務	・見積り合わせを5回行っているが、回数的には問題が無いのか。 ・参加資格を有している者は、何者いるのか。 ・業務内容が委員会形式となっているが、このように有識者を集めるような委員会形式の業務は、民間企業より公益法人の方が参加し易いのか。	・入札回数は2回までと定めているが、見積もりに関しては特に回数の定めを設けていない。 ・同種業務で4者、類似業務で9者の計13者ある。 なお、全ての者が入札説明書をダウンロードしたことを確認しているが、参加表明書を提出した者は1者のみであった。 ・民間企業でも委員会方式の業務を行っている場合もあるので、特にどちらが参加し易いといったことは無いと思われる。

9. 物品・役務 一般競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
免税軽油購入(その2)	・落札率が100%なのは偶然か。参考見積りを徴収しているのか。 ・契約単価は、バージ船等により軽油を運搬する費用等も含んだものなのか。	・偶然と思われる。船舶に燃料を供給するという特殊性から参考に見積りを徴収している。 ・運搬費等の全てを含んだ単価である。